（別紙１）

岐阜県農山漁村発イノベーションプランナー　応募用紙（適宜枠を調整し２頁以内で作成）

|  |
| --- |
| ふりがな　氏名　　　　　　　　生年月日（西暦）　　　　年　　月　　日６次産業化プランナー登録実績 有・無（有の場合、該当箇所に〇または記入：中央、岐阜、愛知、（　　　）道府県】所属・役職　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　拠点住所：〒　　　-　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　日中連絡先（携帯）：　　　‐　　　‐　　　　　e-mail：　　　　　＠　　　　　　 |
| Ⅰ　最終学歴・主な職歴 | Ⅱ　支援・関与実績のある分野【該当する分野に○（複数選択可）】1米・穀類　　2野菜　　3果物、4林産（きのこ）　　5酪農、6肉牛・養豚・養鶏　　7水産8その他（具体的に）【　　　　　　　　　　　　　　　】 |
| 最終学歴 |  | 卒業・修了 |
| （西暦）年　月 | 主な職歴 |
| 年　月 |  |
| 年　月 |  |
| 年　月 |  |
| 年　月 |  |
| Ⅲ　プランナー選定基準の確認及び根拠※プランナーに申請する方はA,B,Cのいずれかに該当する必要があります（重複可）。　どちらに該当するか選択いただき、その根拠等を記入してください。 |
| 該当に〇（重複可） |  |
|  | Ａ ﾊﾞﾘｭｰﾁｪｰﾝ全般の基礎知識を有し、財務状況による経営分析・診断の経験を有する者 | 根拠となる資格等（該当資格等に〇、必要事項を記入（複数可）） |
|  | 食の６次産業化プロデューサー　レベル（　　）※３～６を記入 |
|  | 日本政策金融公庫 農業経営アドバイザー試験 合格者 |
|  | その他、左記経験を有すると証明できる資格・専門家登録等（注）【具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　】 |
|  | Ｂ 特定の専門的な知識、経験を有する者 | 専門分野（該当分野に〇） |
| 食品衛生管理 ・ 知的財産 ・ 人材育成 ・ グリーンツーリズム　販路開拓 ・ 新商品開発 ・ 景観 ・ ジビエ ・ その他（　　　　　） |
| 専門分野の知識、経験を有すると証明できる資格・専門家登録等（注）【具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　】 |
|  | Ｃ デジタル技術の活用に関する専門的な知識を有する者 | 農山漁村発イノベーション事業における経営改善戦略の作成・実行に対する支援にデジタル技術を活用することができる。 |
| 専門分野の知識、経験を有すると証明できる資格・専門家登録等（注）【具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　】 |

（注）各種資格等を証する書類及び経歴を証する書類を添付のこと。また、その他経歴・実績をアピールする資料（農林漁業者支援等の実績を示す書類、執筆した記事・書籍、携わった商品開発情報等）があれば２枚以内にまとめて添付すること。

|  |
| --- |
| Ⅳ　経営改善に至った支援事例（２事例）（Ⅲで選択した知識や経験を活かし、事業者の経営改善に至った支援事例を記入してください。岐阜県以外の事例でも結構です。） |
| 事例１ | 事業者名（所在地） | （　　　県　　市町村） | 商品、品目、農林水産物等 |  |
| 支援内容 | ・・・ |
| 支援成果利益増加額など経営改善の効果について定量的に記入 | ・・・ |
| 事例２ | 事業者名（所在地） | （　　　県　　市町村） | 商品、品目、農林水産物等 |  |
| 支援内容 | ・・・ |
| 支援成果利益増加額など経営改善の効果について定量的に記入 | ・・・ |
| Ⅴ　６次産業化に取り組む事業者のＤＸ(ネット販売、ＳＮＳ発信、販売・在庫管理アプリなど)の活用事例をご記入下さい。（過去の支援実績や一般的な事例など）※農産物生産に係るDX(農薬配布や水門などの管理アプリ、自走草刈り機、湿度センサー等)は除く（２００字程度） |
| Ⅵ　上記の事例について課題をご記入ください。（２００字程度） |